

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～第31報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
生物圏担当

平成22年11月1日

## 1. 最も数が多かった種類(優占種)

植物プランクトン第1優占種



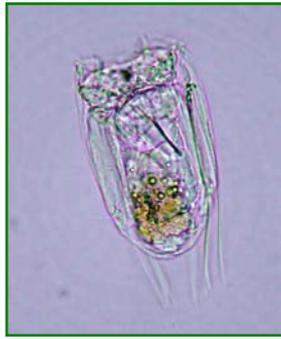
*Aulacoseira granulata*

(アウラコセイラ)

珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い棘状突起を有する。メロシラ グラヌラータとも呼ばれる。

動物プランクトン第1優占種



*Polyarthra vulgaris*

(ハネウデワムシ)

輪虫類

体は四角く、4カ所に鳥の羽状の付属物を有する。

前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンでは、珪藻に属するアウラコセイラ (*Aulacoseira granulata*) が優占種となった。体積で見てもアウラコセイラ (*Aulacoseira granulata*) が優占種となった。綱別の体積では、珪藻類が総体積の約58%、褐色鞭毛藻類が約25%、緑藻類が約17%を占めた。なお、その他の緑藻類としたのは、接合藻のなかまのゴナトジゴン (*Gonatozygon* sp.) 8細胞で、今回初めて計数された。動物プランクトンでは、ハネウデワムシ (*Polyarthra vulgaris*) が60個体/Lで優占種となった。ピコ植物プランクトンは大きく減少し、輝橙色のものが6,500細胞/ml、深赤色のものが210細胞/ml計数され、合計6,700細胞/mlとなった。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数(個体数)

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/L)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	60

第 2 優 占 種		個体数 (個体/L)
甲殻類	Nauplius	30

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
生物圏担当

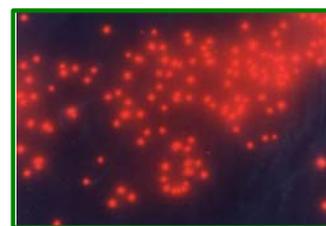
## (2) 植物プランクトン

平成22年11月1日

第31報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)		
		数	体積
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	220	◎	◎
(珪) <i>Aulacoseira distans</i>	20		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	20		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i>	20		
(珪) <i>Cymbella</i> sp.	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	10		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	100		○
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	200	○	
(緑) <i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	32		
(緑) <i>Planktosphaeria</i> sp.	64		
(緑) その他の緑藻	8		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	310	42.2	57.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	2.7	1.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	300	40.9	24.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	104	14.2	15.6
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	734	総体積	8.25E+05
種 類 数	14	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン  
1,000倍G励起で撮影

## (3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	11月1日 細胞数/ml
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	6,700

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが $0.2\sim 2\mu\text{m}$ ( $1\mu\text{ml}$ は $1\text{mm}$ の1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。